

科目名	教育相談			科目ナンバリング	MC2L3C26
担当者	竹下 健太				
担当形態	単独			単位数	1単位
対象学科	音楽学科			開設学年	3年次
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	選択	必修		選択必修	ABCEF
備考					

授業のテーマ及び到達目標	学校における教育相談の意義と理論を理解する。必要な基礎的知識としてカウンセリングマインドや技法を身につけ、生徒の発するシグナルに気づく力をつける。学内での自分の立場を活かし、発達段階や発達課題に応じた具体的な教育相談の計画を立てることができる。学内での組織的な取組や学外の専門機関との連携の必要性を理解する			
授業の概要	最初に基礎的なカウンセリングの理論と技法を学修する。その後、将来必ず出会うであろう相談場面を想定し、その場面の様々な立場(教師、生徒、保護者、観察者)を交互に演じながら技法の練習をする。また、実践的な練習の中で、教育相談で学ぶべき必要な心理学的、社会的知識を学修する			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	学校における教育相談の役割を理解し、カウンセリングとその理論及び基本的な技法を学修	教科書でカウンセリングマインドについて理解しておく	カウンセリング技法を使って会話を実践
	2	生徒の発達課題と発達上の問題及びその支援を学修	発達障害について調べてまとめる	生徒、保護者、教師、観察者を交替で演じ練習
	3	学校現場における「問題行動」とその対応について学修	「問題行動」を通して指導する方法を考察	問題を抱えた子の保護者の気持ちを想像し書いてみる
	4	障害を持った幼児、児童、保護者への対応を学修	教師役と保護者役に分かれて相談の練習をする	障害を持つ子の自己肯定感を高める支援について考察
	5	問題が発生する前に働きかける予防的取組を学修	何でも相談できる雰囲気はどうやって作るか考察	エンカウンターグループのエクササイズを試してみる
	6	深刻化している教師のメンタルヘルスとその対応、教師同士の支え合いについて学修	「共感」に関する本を一冊以上読んでおく	教師役と保護者役、観察者に分かれて相談練習
	7	保護者の子供に関する相談への対応及び保護者自身の抱えるストレスとその対応を学修	クレームをSOSと捉えることについて考察	教師役と保護者役、観察者役に分かれて相談の練習
	8	問題に全校あげて取り組むためのネットワークづくり及び利用可能な学外の専門機関について学修	利用可能な学外の専門機関について調べておく	学内外のネットワーク活用について話し合う

使用教科書	よくわかる教育相談(ミネルヴァ書房)
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	小レポート・授業態度	80%	意見の深まり・積極的な参加
	期末レポート	20%	調査、論旨一貫性、自分の考え

科目名	キャリア教育の理論と方法			科目ナンバリング	MC2L3C27
担当者	竹下 健太				
担当形態	単独			単位数	1単位
対象学科	音楽学科			開設学年	3年次
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	選択	必修		選択必修	ABCF
備考					

授業のテーマ及び到達目標	生徒が自ら進路を考え、それによって将来の生活によりよく適応し、能力を伸長するように、教員が組織的・継続的に指導・援助する方法を学修する。また、生徒の長期的な人間形成を目指し学校で学ぶことと社会との接続を意識させ、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育む方法を学修する			
授業の概要	進路指導・キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を身に付ける			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	キャリアカウンセリングの基礎的理論と技法を学修	カウンセリングとキャリア相談の関連を考察	キャリア相談を教師生徒観察者の役に分かれてやる
	2	生涯にわたるキャリア形成におけるツールの活用と、それによる自己理解の視覚化(ポートフォリオ化)	職業興味検査VPIの簡易版をやってみる	自己分析結果をもとにディベートしてみる
	3	職業理解のための社会人インタビュー集の分析、職業と学生生活(授業・部活動・アルバイト・インターン・ボランティア活動等)との関連付け	社会人に「やりがい」を感じるのはどんなときか訊く	学生生活における喜びと仕事の喜びを比較する
	4	学校においてキャリア教育を一斉指導で行った事例の分析とそれに関するディベート	自分が高校までに受けたキャリア教育についてまとめる	キャリア教育の授業案を作ってみる
	5	学校における進路指導・キャリア教育の事例分析(進路指導担当と他の部署との連携についての学修)	高校までに受けた進路指導についてまとめる	担任、生徒、保護者、観察者の役で面談をしてみる
	6	進路指導・キャリア教育の観点から、生徒の学内外の教育や活動を分析し、ディベート	自分の高校までの学生生活を進路指導の観点から考察	生徒の卒業後のスムーズな移行に必要な資源を考察
	7	進路指導・キャリア教育における学内外の資源の活用、家庭との連携による効果の上げ方を学修	生徒の進路決定に資する施設をリストアップする	生徒の進路決定に資する施設をリストアップする
	8	教員となったら遭遇するであろう事例を、教師、生徒、保護者、観察者の役割を交代で演じ、体験	教員になったら遭遇するであろう事例を書いてくる	相談の役割演習を通して見えた自分の改善点を考察

使用教科書	キャリアカウンセリング(駿河台出版社)			
参考書・参考資料等				

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	小レポート・授業態度	80%	意見の深まり・積極的な参加
	期末レポート	20%	調査、論旨一貫性、自分の考え

科目名	道徳教育の理論と方法			科目ナンバリング	MC2L3C28
担当者	中川 敏昭				
担当形態	単独			単位数	2単位
対象学科	音楽学科			開設学年	3年次
開講時期	後期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	選択	必修		選択必修	AD
備考					

授業のテーマ及び到達目標	道徳の意義や原理等を踏まえ・学校における道徳教育の目標や内容を理解する 道徳教育及びその要となる道徳科における指導計画や指導方法、評価の在り方を理解する			
授業の概要	小中学校の道徳の授業を振り返りながら、道徳の意義や道徳教育の目標、内容について理解を深め、模擬授業等を通して道徳科の指導方法やその評価等について具体的、実践的に学ぶ			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	道徳の意義や本質(道徳とは何か)について	解説P12まで読み深めてくる	小中学校時代の道徳の授業について振り返り思い出す
	2	道徳教育の歴史や現代社会における道徳の課題(いじめ・情報モラル)について	解説P13～24を読み深めてくる	小中学校時代の道徳の授業について感想(レポート)
	3	子供の心の成長と道徳性の発達について	解説P73～83を読み、感想を書く	講義の感想をまとめる(レポート)
	4	学習指導要領に示された道徳教育及び道徳科の目標及び内容について	解説P84～91を読み、感想を書く	講義の感想をまとめる(レポート)
	5	道徳教育の指導計画と教育活動全体を通じた指導の必要性について	解説P91～96を読む。教材の感想を書く	講義の感想をまとめる(レポート)
	6	道徳教育の要としての道徳科の特質を生かした多様な指導方法について	解説P97～101読む。模擬授業指導案作成	講義の感想をまとめる(レポート)
	7	道徳科の教材の特徴を踏まえた授業設計について	解説P102～106読む。模擬授業指導案作成	講義の感想をまとめる(レポート)
	8	授業のねらいや指導過程を明確した道徳科の指導案の作成について	指導案を書く	講義の感想をまとめる(レポート)

	9	道徳科の授業の進め方と師範授業	教材を読み、授業の進め方を考える	講義の感想をまとめる(レポート)
	10	道徳科の特性を踏まえた学習評価の在り方について	解説P107～112読む	講義の感想をまとめる(レポート)
	11	模擬授業(友情信頼、克己と強い意志)の実施とその振り返り、授業改善の視点について	①教材を読む②扱う項目の内容を読む	講義の感想をまとめる(レポート)
	12	模擬授業(集団生活の充実、節度節制)の実施とその振り返り、授業改善の視点について	①教材を読む②扱う項目の内容を読む	講義の感想をまとめる(レポート)
	13	模擬授業(個性の伸長、感動畏敬の念)実施とその振り返り、授業改善の視点について	①教材を読む②扱う項目の内容を読む	講義の感想をまとめる(レポート)
	14	模擬授業(よりよく生きる喜び、勤労)実施とその振り返り、授業改善の視点について	①教材を読む②扱う項目の内容を読む	講義の感想をまとめる(レポート)
	15	道徳の意義、原理、道徳教育の目標や内容、指導方法等についてのまとめ及び試験	講義、教材、模擬授業から学んだこと(レポート)	・試験 ・学んだことを発表しあう

使用教科書	中学校学習指導要領解説道徳編(平成27年7月)(教育出版)
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	レポート	40%	道徳教育の本質と自分の生き方に関わる内容
	模擬授業・発表・発言等	30%	積極的姿勢(発言等)
	試験	30%	学習指導要領の基本的な内容(目標等)